

平成26年度第4回三重県医療審議会健やか親子推進部会
における主な意見

- 1 「健やか親子いきいきプランみえ」次期計画の最終案について
 - ・厚生労働省の事業である子育て世代包括支援センターの整備を市町に働きかけるとあるが、人口が少ないところでは、整備自体が難しい可能性がある。もっと広域で進めるなどの工夫が必要かもしれない。
 - ・子育て世代包括支援センターには、障がい福祉などの情報も集まってくる仕組みにしなければ、窓口のワンストップ化は難しいと思われる。
 - ・市町も県も現場の保健師が足りない状況のなかで、計画に書かれている新たな取組をやっていけるのかが心配である。保健師等の人材の確保も課題である。
 - ・市町の現状を考えると、新しいシステムばかり作るのではなく、現在の仕組みをいかに活用していくかということも重要である。
 - ・育児支援ヘルパーによる家事支援は、ポピュレーションアプローチ、ハイリスクアプローチ双方の観点から有効であるので、市町や地域で活動してもらえよう整理してもらいたい。
 - ・育児支援ヘルパー等の人材育成は、1回の研修で終わるのではなく、内容を変えて何度も研修を行うなど、質の維持・向上を図る必要がある。
 - ・国が毎年調査をする「仕上げ磨きをする親の割合」については、県の計画にも歯科保健対策に関するものとして何らかの記述をするべきである。
 - ・少子化対策を進めるのであれば、県民に子どもを産みたいという気持ちになってもらうことが重要である。三重県は少子化対策を重点的に進めていくと言っているので、子ども関係の予算を増やして手厚く取り組んでもらうことを期待したい。
- 2 「三重県保健医療計画（第5次改訂）」の進捗報告について
 - ・特になし
- 3 「三重県母子保健統計（平成25年）」について
 - ・特になし